

SDGs for School  
produced by Think the Earth

16

「SDGs for School」の共感の輪を広げ、継ぎつないでいくことで社会の変革の当事者になることもできますね。

WJLB「SDGs for School」× 曹洞禅「編集メンバー」では、読者のみなさんと一緒に行動を考えるサマリーイベントを企画中です。私

みなさんこんにちは。今年も暑い夏になりそうですね。確実に、気候変動を感じる時代になりました。

一方で、気候変動の渦中を生きる私たちは、時代の当事者であると言えます。だからこそ、より良い未来に向けて、本質的な行動を考え、世代を超えてその行動

たちに身近である「ファッション」を通じて、持続可能な未来に向けて一緒に行動し、イベントにご参加いただいたみなさんの周りでも広げていける行動を体験的にご紹介していきます。日程は8月24日（水）です！ みなさん、ぜひぜひご参加ください！！

そして、このイベントに向けて、今回の特集は衣食住の「衣」に関する話題をまとめてみました。

今年の夏は、「SDGs for School」×曹洞禅「メンバーと一緒にファッションからより良い未来づくりを考えていきませんか？



〇のは  
・中学2年生

私は今回、身近な「衣」＝制服について考えました。多くの場合、制服には卒業後の使い道が無く、廃棄されてしまいます。しかし、ある市では、まだ着ることができるきれいな制服を卒業生が市役所に寄付し、新1年生は自分に合ったものを持ち帰ることができそうです。国内の洋服（制服含む）の廃棄量は年間約46万トンだそうです。今後、全国的に同様のシステムが導入されれば、利用者はハッピーになれる上に、コスト削減やリユース促進に繋がり、SDGs 12番「つくる責任・使う責任」の達成に一步近づけることができると思いますか？





○みのり  
・高校2年生

あなたが今着ている服を誰がどこで作ったのか知っていますか？ 今日この文章を書いている日、私は「メイド・イン・バングラデシュ」という映画を見ました。私たちの着る服の多くが作られる国バングラデシュの女性の過酷な労働とエンパワメントを描いた映画です。

彼女たちは一日1、600枚のTシャツを作っていますが、その月収はTシャツ2〜3枚分だそうです。

私たちには何ができるのでしょ



○みなみ  
・高校2年生

みなさんは、江戸時代の衣服の利用法を知っていますか？ 江戸時代の人々は新品のゆかたが古くなると、古着↓パジャマ↓おむつ↓雑巾↓燃料というような順番で再利用し、最後まで、布を無駄にしませんでした。

これを参考に、現代で服を無駄にしない方法を考えてみました。

例えば、街の古着屋やスマートフォンアプリを使ったやりとりで、古着を買ったり売ったりできます。また、ポリエステル繊維の服を集めて、化学的なりサイクル技術を用いて、再び服を作る取り組みも行

われています。このように、昔の良い例を参考に、現代の技術を組み合わせることも、SDGs達成のために、有効ではないでしょうか。



○ふるとり  
・大学2年生

みなさんは、一着の服をどれだけ着るでしょうか？ 環境省の調べによると、原材料の調達から製造段階までに服一着あたり約25・5kgのCO<sub>2</sub>が排出され、約2、300ℓもの水が消費されています。さらに服を手放す方法も7割近くがゴミとして出されており、一日に1、300tが焼却、埋め立てされています。みなさんは着





ていない服はありませんか？

セールなどで必要のない服を買っ

ていませんか？ 衣服はみなさん

の想像以上に環境負荷が大きいも

のです。必要な量だけ買い、長く

使う。これからはそんな価値観が

大事になるのではないのでしょうか。

(参考：環境省「サステイナブル

ファッション」 [https://www.env.](https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/)

[https://www.env.go.jp/policy/sustainable\\_fashion/](https://www.env.go.jp/policy/sustainable_fashion/))



嬉しいことに、編集メンバーが増えました！ 『てらスクール』

の読者から増えました!! はるか

さん、自己紹介をよろしく願

します!



○はるか  
高校2年生

高校2年生のはるかです。幼い頃からバレエを習っているため、踊ることが大好きです!

最近には体に良いというところでカカロ70%以上のチョコを食べ、ポリフェノールを摂取しています。しかし脂質が高いので食べ過ぎには注意です!

私はSDGs目標3の「すべての人に健康と福祉を」に興味があり、本誌を読んでメンバーへの参加を希望しました。私の地元の秋田県は自殺率が全国一位です。私の周りでも自殺を減らす取り組み

が行われています。この活動を通して、みなさんとともに自殺問題について理解を深めていきたいと思っております。

### ★サマーズイベントのご案内

【開催日】8月24日(水)

【時間】13時~17時(予定)

・みんなで一緒に行動を考えるサマーズイベント! テーマは、衣食住の「衣」。私たちの生活になくてはならない衣服や布製品について、みんなで考えよう。  
対面(東京会場)とオンラインのハイブリットで開催します。  
イベント情報、参加申込みはこちら↓

